



66 MIYANOSHITA HAKONE



590 MIKADO PALACE FROM HAKONE LAKE

企画展

古写真に見る

幕末・明治の箱根



Hakone 150 Years Ago



1957 TAMADARE WATERFALL BY YOSHINO

~from Foreign Travelers' Perspectives~



628 FUJIYAHOTEL MIYANOSHITA



961 INSIDE TEA HOUSE TONOSAWA

箱根町立郷土資料館
HAKONE MUSEUM OF HISTORY AND FOLKLORE

- [開館時間] 9:00~16:30 ※入館は16:00まで
- [休館日] 毎週水曜日、最終月曜日 (8月中は全日開館)
- [入館料] 一般300円/小中学生150円 (20名以上団体割引あり)
- [交通] 箱根登山鉄道「箱根湯本」駅から徒歩5分



ミュージアム・リレー第283走
神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (WESKAMS) 実施事業の一環として、本企画展の展示解説を行います。(参加費無料)
[日時] 11月20日 (金) 14:00~16:00
[会場] 当館 [定員] 20名
※先着順。前日までに直接電話にてお申し込みください。

2020 8.1 (土) ~ 11.29 (日)

横浜写真の中の箱根—選ばれた風景—

日本に写真技術がもたらされた江戸時代末から明治30年代頃にかけて、日本各地の風景写真や風俗写真の多くが、50～100枚程度をセットに豪華な表紙付のアルバムに仕立てられ、来日外国人の日本土産として販売、または「写真画」の名で輸出されました。これらは主に横浜で製作・販売されたため、横浜写真と呼ばれています。

その中で、当時すでに外国人に人気の観光地だった箱根の風景写真は比較的数多く撮影され、特に箱根七湯の温泉場や、街道の石畳や杉並木、芦ノ湖と富士、大涌谷などの名勝地は人気も高く、まさに外国人たちのまなざしに選ばれた風景だったと言えます。

これらの写真は、現代の私たちにとっては往時の箱根を知ることのできる貴重な歴史資料のひとつですが、当時は日本土産などによって世界各国にもたらされることで、箱根の風景を世界中に伝える役割を果たしました。世界の人々は写真というメディアを通して箱根を知り、そして当時欧米を中心に高まっていた旅行熱を背景に、多くの人々が箱根への旅情をかき立てられたことでしょう。

今回の企画展では、当館がこれまで収集してきた横浜写真のうち、箱根各地の写真を選んで展示します。これらの写真から往時の箱根各地のようすをご覧いただくとともに、箱根の風景を世界中に広めた写真というメディアが、近代の箱根観光の中で果たした役割について考えるきっかけとなれば幸いです。



芦ノ湖と富士(明治中期)



芦ノ湖畔の箱根宿(幕末)



大涌谷の噴煙



東海道石畳(幕末)



木賀温泉(明治前期)



詩絵表紙の
横浜写真アルバム